

令和8年度 第1回公設宮代福祉医療センター運営懇話会会議録

開催日時	令和8年6月29日（月）午後1時30分～午後3時30分
開催場所	公設宮代福祉医療センター 3階会議室
出席者	委員 木村由美子会長、今岡京子副会長、田口孝雄委員、村山ふさ江委員、鈴木健司委員、今村経夫委員、吉永吉正委員
	事務局 塚原太郎センター長、宮崎康之診療所長、曾根一浩課長補佐、青柳誠健康介護課長、野口延寿保健センター所長、竹花治専門員
欠席者	関根美和委員
傍聴者	1人
配布資料	次第、運営懇話会資料
会議録作成者	竹花

1. 開会（進行：野口所長）

2. 公設宮代福祉医療センター長あいさつ

3. 運営懇話会会長あいさつ

4. 議事（進行：木村会長）

1) 令和7年度公設宮代福祉医療センター利用状況（7・6年度比較）

（事務局より説明）

－質疑応答－

委員 全体的に利用者が減っている理由は。

事務局 六花だけではなくコロナ禍以降協会全体の利用者は減っている。健康志向の高まりや内服薬の処方だけで受診を控えるなどの理由は考えられる。高血圧のような特定疾患は処方できる日数も増えているので、受診に繋がらないケースも増えている。

委員 患者が減ることは良いことではあるが、経営上の点からは良くないとも取れる。

事務局 健診や予防接種のような予防活動が増えてカバーできるようになれば良いと考えている。

委員 入院の数が減っているが何が原因か。

事務局 ターミナルの方が多いので延べ人数は減っている。他の医療機関からの紹介で入院される方も減ってきている。今は入所に力を入れていることもあり入院が減っていることもある。

委員 入院は内科的な方やターミナルの方が多いということか。

事務局 今は入院の方はいないがターミナルの方が多かった。

委員 町内の整形外科に家族が受診しているが非常に混んでいる。需要があると考えらるとう少し整形の日数を増やしても良いと考えるが。

事務局 大学病院から来ていただいているので、必要があれば調整はしていくがそんなに簡単ではないかもしれない。

委 員 診療所に老健にも訪問リハビリがあるがこの違いは何か。

事務局 介護保険と医療保険の違いである。

委 員 医療の訪問診療がゼロなのは需要が無いということか。

事務局 需要はあると思う。ただこれは7年度の実績であるので8年度からは実施している。

委 員 開業医は往診という形で行っていると聞いているので六花はできないのかと思います。

事務局 需要に対し検討していく必要はあると考える

委 員 高齢化になり免許を返納したりする方も増えていると思う。その方々が循環バスを利用して受診できるようにして欲しい。

事務局 循環バスは六花だけの問題ではないので、全体として考えていく必要がある

委 員 資料にある医師体制を見ると午後に診療していないように見えるが。

事務局 実際は診療しているので資料の表示を検討する。

2) 令和7年度公設宮代福祉医療センター損益計算書（7・6年度比較）

（事務局より説明）

－質疑応答－

委 員 求人広告していないが職員は充足しているのか。

事務局 職員は足りないので協会内で調整してもらっているが昨年度の数字なので今年度は増えることも考えられる。

委 員 公益事業負担金はもらえたということか。

事務局 利益が出た時は支出をしているので、今までの分を返してもらっているということ。

委 員 入院が減ったことと物価高騰に必要経費が増え、より赤字が増えているということか。

事務局 全体的に考えるとそういうことであるが、合わせて利用者の方が減っていることが大きい。

委 員 診療報酬で物価高対策が含まれたと思うが、損益に多少の改善は見込めるのか。

事務局 診療報酬の部分で考えると改善は見込めるかもしれない。しかし、マイナス部分は今まで積み上げているのを取り崩している。また、町からもらっていた補助金も無くなるので楽観的には考えてはいない。1月に虐待の問題がありそれ以降入所が増えていないので収益には影響が出ている。

委 員 事業費用の節約には限度があると思うが収益を増やせる考えがあるか。

事務局 特定健診の枠を増やし、ワクチン等の推奨も含めた働きかけをしている。また、訪問診療も含め需要に対応できるようにしたい。

委 員 老健の入所に関して虐待問題もあり期待ができないとのことだが、医療部分も PR を含めて努力して欲しい。

事務局 PR に関しては町でも可能な限り協力はしていく。

3) 令和 7 年度下半期公設宮代福祉医療センターの取組

(事務局より説明)

委 員 虐待と認定するという点に関して、第三者を入れて対応することで改善されれば良いと思う。

事務局 面会のルールに関して時間や人数を大幅に見直した。また、食べ物に関しても生ものやアルコールは無理であるが本人の好きなものを少しでも差し入れできるようにした。そして、保育園との交流事業も再開している。

委 員 どの施設や病院でも面会等を制限している中で、元の状態に戻す努力をしているのを聞いて安心した。

事務局 色々な要望等にも対応できるように少しずつ改善している。

委 員 働く人を守ると同時に入所者も守る体制を整えて欲しい。

事務局 施設での出来事を記録することは職員を守ることにもなるのでカメラを設置した。

4) 令和 8 年度公設宮代福祉医療センター診療体制

(事務局より説明)

質疑なし

5) 公設宮代福祉医療センター運営に関する意見・要望等について

意見等なし

6) その他

(事務局より説明)

6. 閉 会